

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場会社名 SECカーボン株式会社

上場取引所 大

コード番号 5304 URL <http://sec-carbon.com>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 大谷 民明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 吉澤 潔

TEL 06-6491-8600

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	9,955	△25.6	1,281	△48.6	1,272	△52.8	752	△52.0
21年3月期第2四半期	13,385	—	2,495	—	2,696	—	1,565	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	18.28	—
21年3月期第2四半期	38.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	41,137	30,219	73.5	734.40
21年3月期	38,812	29,202	75.2	709.62

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 30,215百万円 21年3月期 29,197百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
22年3月期	—	8.00			
22年3月期(予想)			—	8.00	16.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,100	1.4	3,490	0.2	3,590	△6.1	2,120	△2.4	51.53

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年3月期第2四半期	41,388,682株	21年3月期	41,388,682株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	245,586株	21年3月期	243,416株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	22年3月期第2四半期	41,143,988株	21年3月期第2四半期	41,153,042株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政策効果の下支えもあって生産、輸出の持ち直しから最悪期を脱したと見られるものの、企業業績の回復に力強さが感じられず、円高の進行もあいまって製造業の設備投資は大幅に減少しており、引き続き厳しい状況のまま推移いたしました。

また、当社グループの主要ユーザーの電炉鋼業界をはじめ特殊炭素製品の需要家におきましても、世界的な需要減少に対応するため、減産を継続しております。

このような状況の中、当社グループでは、原材料価格などのコスト増加や需要の大幅な減少に対応すべく、製品価格の改定、生産性向上などに全社一丸となって取り組んでまいりました。

しかしながら、全般的な販売数量の減少が影響し、前年同四半期の業績を下回りました。

この結果、当第 2 四半期連結累計期間の業績は、売上高99億 5 千 5 百万円(対前年同四半期比25.6%減)、営業利益12億 8 千 1 百万円(対前年同四半期比48.6%減)、経常利益12億 7 千 2 百万円(対前年同四半期比52.8%減)、四半期純利益 7 億 5 千 2 百万円(対前年同四半期比52.0%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末と比較して23億 2 千 4 百万円増加して、411億 3 千 7 百万円となりました。主な増加は、商品及び製品の増加14億 8 千 7 百万円、仕掛品の増加15億 9 千 3 百万円、所有株式時価の上昇による投資有価証券の増加 9 億 9 千万円および設備投資による建設仮勘定の増加 8 億 3 千 9 百万円であり、主な減少は、受取手形及び売掛金の減少12億円および現金及び預金の減少10億 3 千 7 百万円です。

負債は、前連結会計年度末と比較して13億 6 百万円増加して、109億 1 千 7 百万円となりました。主な増加は、短期借入金の増加10億円、設備投資に伴う未払金の増加等による流動負債その他の増加 6 億 1 千 5 百万円および投資有価証券の時価上昇等による繰延税金負債の増加 3 億 9 千 2 百万円であり、主な減少は、買掛金の減少 9 億 6 千 2 百万円です。

少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末と比較して10億 1 千 7 百万円増加して、302億 1 千 9 百万円となりました。主な増加は、その他有価証券評価差額金の増加 5 億 8 千 9 百万円です。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の75.2%から73.5%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の見通しにつきましては、新興国での景気回復はある程度見込めるものの、我が国や欧米先進国の景気回復の足取りは鈍く、下期から期待していた人造黒鉛電極や特殊炭素製品の需要持ち直しはさらにずれ込む見通しとなっております。

主要原料であるコークス価格やエネルギー価格についても石油価格が上昇気配となる中、不透明な要素が多く、当社を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社といたしましては、できる限りの価格改定とコスト削減に注力し、激しい国際競争に負けない強固な企業体質を確立することによって、業績の向上に取り組んでまいりたいと存じます。

平成22年3月期の通期業績予想につきましては、連結売上高261億円(前期比1.4%増)、連結営業利益34億9千万円(前期比0.2%増)、連結経常利益35億9千万円(前期比6.1%減)、連結当期純利益21億2千万円(前期比2.4%減)を見込んでおります。

本業績予想において下期の外国為替レートは1ドルにつき90円で算出しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を一括記載しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成21年 9 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	887	1,925
受取手形及び売掛金	5,630	6,831
商品及び製品	3,395	1,908
仕掛品	9,353	7,760
原材料及び貯蔵品	1,091	1,090
その他	357	381
貸倒引当金	△11	△15
流動資産合計	20,705	19,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,607	3,585
機械装置及び運搬具（純額）	7,493	7,811
土地	1,301	1,301
建設仮勘定	1,577	738
その他（純額）	199	215
有形固定資産合計	14,179	13,652
無形固定資産	73	84
投資その他の資産		
投資有価証券	5,948	4,957
その他	237	243
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	6,178	5,193
固定資産合計	20,431	18,930
資産合計	41,137	38,812

(単位：百万円)

	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成21年 9 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,074	3,036
短期借入金	4,001	3,001
未払法人税等	523	326
賞与引当金	291	228
その他	1,494	878
流動負債合計	8,384	7,471
固定負債		
繰延税金負債	632	240
退職給付引当金	1,332	1,336
環境対策引当金	515	515
その他	52	46
固定負債合計	2,532	2,138
負債合計	10,917	9,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,913	5,913
資本剰余金	5,247	5,247
利益剰余金	17,228	16,805
自己株式	△135	△134
株主資本合計	28,253	27,832
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,955	1,365
繰延ヘッジ損益	6	—
評価・換算差額等合計	1,961	1,365
少数株主持分	4	4
純資産合計	30,219	29,202
負債純資産合計	41,137	38,812

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)
売上高	13,385	9,955
売上原価	9,361	7,316
売上総利益	4,024	2,639
販売費及び一般管理費	1,529	1,357
営業利益	2,495	1,281
営業外収益		
受取利息	6	0
受取配当金	76	63
不動産賃貸料	63	56
為替差益	78	—
雑収入	9	32
営業外収益合計	234	152
営業外費用		
支払利息	3	11
不動産賃貸原価	12	10
為替差損	—	131
発生屑売却損	15	—
雑支出	1	7
営業外費用合計	33	161
経常利益	2,696	1,272
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	4
特別利益合計	—	4
特別損失		
固定資産除却損	72	27
投資有価証券評価損	14	—
特別損失合計	87	27
税金等調整前四半期純利益	2,608	1,249
法人税等	1,042	497
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	0	△0
四半期純利益	1,565	752

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

当社及び連結子会社は単一の事業を専門的に営んでおりますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

当社は在外連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	米州	アジア・中近東	欧州	その他の地域	計
① 海外売上高(百万円)	1,900	2,829	932	1,285	6,947
② 連結売上高(百万円)					13,385
③ 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.2	21.1	7.0	9.6	51.9

(注) 1 海外売上高は、当社の本邦以外への売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度による。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

米州……カナダ、米国、ブラジル、アルゼンチン

アジア・中近東……韓国、台湾、アラブ首長国連邦、バーレーン

欧州……ノルウェー、フランス、ドイツ、スロベニア

その他の地域……オーストラリア、南アフリカ、モザンビーク

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	米州	アジア・中近東	欧州	その他の地域	計
① 海外売上高(百万円)	803	3,241	768	786	5,600
② 連結売上高(百万円)					9,955
③ 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	8.1	32.6	7.7	7.9	56.3

(注) 1 海外売上高は、当社の本邦以外への売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度による。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

米州……カナダ、米国、ブラジル、ベネズエラ

アジア・中近東……カタール、韓国、アラブ首長国連邦、バーレーン

欧州……ノルウェー、ドイツ、ギリシア、フランス

その他の地域……オーストラリア、モザンビーク、南アフリカ、エジプト

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。